

都市型水害を踏まえた雨水対策のあり方検討部会を設立します

千葉市では、令和8年8月千葉豪雨を受け、被災者の皆さまが1日も早く日常を取り戻せるよう、復旧を最優先に全庁をあげて全力で取り組んでいるところです。

このたび、今回の豪雨災害による都市型水害を踏まえ、今後の雨水対策に関するハード整備水準やソフト対策を組み合わせるどのように被害を軽減するかなど、雨水対策のあり方を早急に検討するため、有識者を委員とした検討部会を設立しますので、お知らせします。

1 「都市型水害を踏まえた雨水対策のあり方検討部会」

(1) 設置目的

都市型水害を踏まえた今後の雨水対策に関する整備方針などのあり方の検討

(2) 委員等

委員長 もりた ひろあき 森田 弘昭 氏（日本大学教授・博士（工学））
委員 やまがた ひろき 山縣 弘樹 氏（国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究室長）
にし しゅう 西 修 氏（地方共同法人 日本下水道事業団 事業統括部長）
大学教授（1～2人調整中）

(3) 設置日

令和8年9月14日（月）

2 第1回会議について

(1) 開催日

令和8年9月下旬～10月上旬（予定）

(2) 場所

未定

(3) 議事（予定）

- ・令和8年8月千葉豪雨の気象状況および被害状況について
- ・本市の雨水対策の現状と課題について

ほか

※詳細が決まり次第、改めてお知らせします。

※第2回以降の開催（開催日、開催回数、検討内容については調整のうえ、公表する予定です。）